

(3) 重度後遺障害者に対する援護 (療護センター)

(中期目標)

- ① 療護センターにおいては、遷延性意識障害者に対し、質の高い治療・看護を実施するとともに、医学的観点から公平な治療機会の確保を図りつつ、必要な措置をハード・ソフト両面において実施し、治療効果を高めること。

(中期計画)

- ① 遷延性意識障害者に対し、病棟ワンフロアシステム、プライマリー・ナーシングや高度先進医療機器による高度な治療・看護を実施することにより、中期目標期間中に脱却者 30 人以上（認可法人時の直近 4 ヶ年平均年 9 人）とするなど、治療効果を高める。

(年度計画)

- ① 引き続き、遷延性意識障害者に対し、病棟ワンフロアシステム、プライマリー・ナーシングや高度先進医療機器による高度な治療・看護を実施し、中期目標期間における平成 17 年度までの脱却者数を 24 人以上とする。

◎ 年度計画における目標値設定の考え方

中期目標期間中に脱却者数30人以上とする目標に向けて、平成17年度までの脱却者数を24人以上とすることとした。

◎ 実績値

○ 各療護センターは、MRI、PET等の高度先進医療機器による高度な治療を行うとともに、ワンフロア病棟システムによる集中的な患者観察や同じ看護師が1人の患者を継続して受け持つプライマリー・ナーシング方式による質の高い看護を行い、平成17年度までに48人を脱却させた。

脱 却 実 績 (単位：人)

年 度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	15年度下半期 から累計
脱却者数	15	16 (下半期:8)	18	22	48

◎ 実績値が目標に達しない場合には、その理由及び次年度の見通し

◎ その他適切な評価を行う上で参考となり得る情報

（中期目標）

- ① 療護センターにおいては、遷延性意識障害者に対し、質の高い治療・看護を実施するとともに、医学的観点から公平な治療機会の確保を図りつつ、必要な措置をハード・ソフト両面において実施し、治療効果を高めること。

（中期計画）

- ② 質の高い治療機会を医学的観点から公平に提供するため、治療効果の観点を踏まえた入院や入院中の経過説明等入退院プロセスの構築を図るとともに、その他の医療機関との連携を図りつつ病床や高度先進医療機器の整備を進める。

（年度計画）

- ② 新設した千葉療護センターの併設介護主体病床 30 床を開業し、治療機会を公平に提供するとともに、設備の更新計画に基づき、東北、岡山療護センターの磁気共鳴断層撮影装置(MRI)を更新する。また、入退院プロセスに関する前年度（平成 16 年度）の検討を踏まえ、療護センターの入退院プロセスのモデルケースを構築する。

◎ 年度計画における目標設定の考え方

- 千葉療護センターの併設介護主体病床（30床）を開業する。
- 東北、岡山療護センターの磁気共鳴断層撮影装置(MRI)を更新する。
- 療護センターの入退院プロセスのモデルケースを構築する。

◎ 当該年度における取組み及び中期目標達成に向けた次年度の見通し

1) 平成17年度における取組み

- 千葉療護センターは、平成17年4月に併設介護主体病床（30床）を開業した。



○ 東北、岡山療護センターの磁気共鳴断層撮影装置(MRI)の更新については、平成18年3月に完了した。

更新MRIの設置写真（東北療護センター）

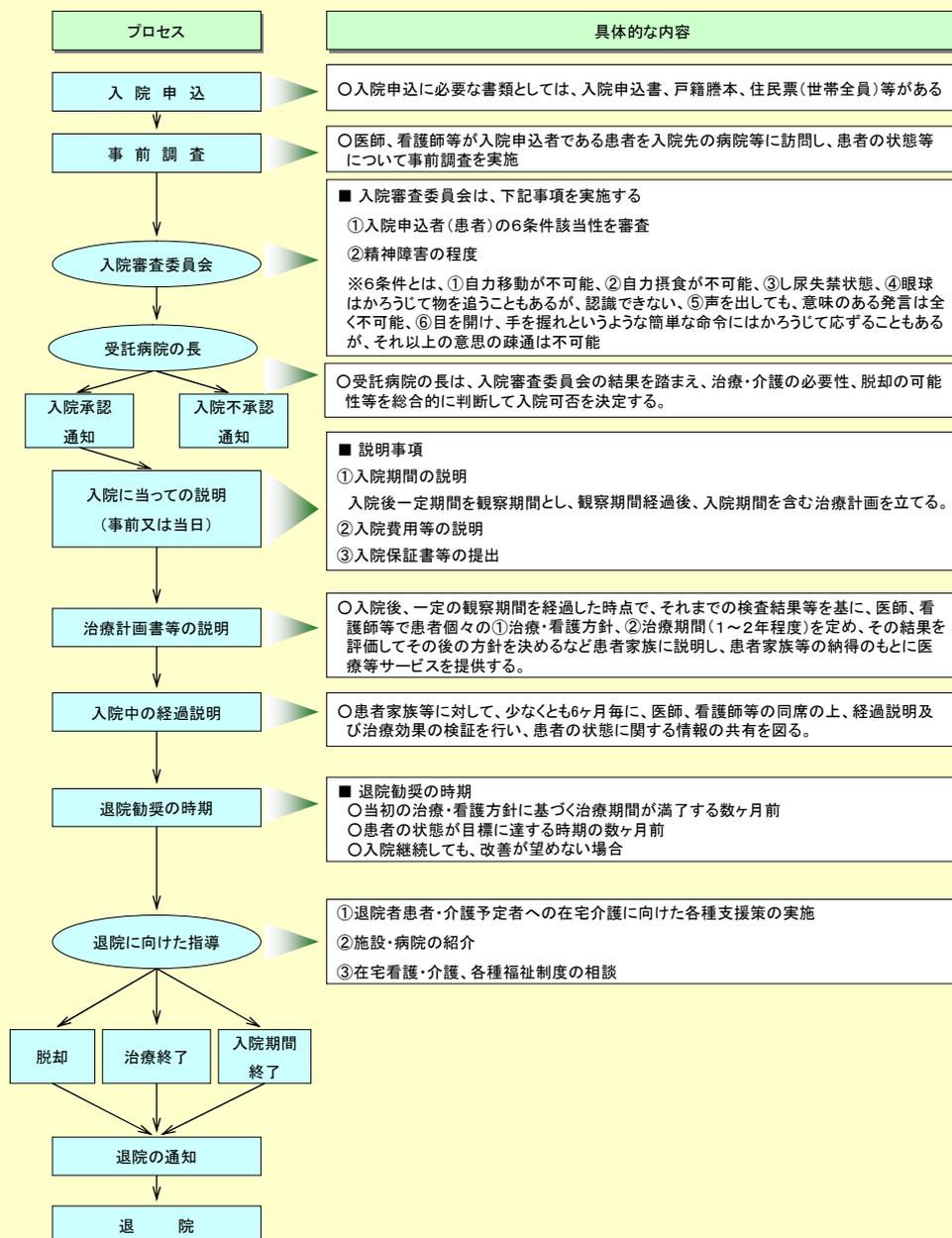


更新MRIの設置写真（岡山療護センター）



- 前年度の検討結果を踏まえ、療護センターの入退院プロセスのモデルケースを構築した。

療護センターの入退院プロセス モデルケース



2) 次年度の見通し

- 設備の更新計画に基づき、千葉療護センターに陽電子断層撮影装置(PET)を整備する。
- 平成17年度に策定した療護センターの入退院プロセスのモデルケースをもとに、各療護センターの入退院プロセスの構築を図る。

◎ その他適切な評価を行う上で参考となり得る情報

(中期目標)

- ① 療護センターにおいては、遷延性意識障害者に対し、質の高い治療・看護を実施するとともに、医学的観点から公平な治療機会の確保を図りつつ、必要な措置をハード・ソフト両面において実施し、治療効果を高めること。

(中期計画)

- ③ 短期入院事業において、入退院の状況を勘案しつつ、療護センターの有効活用を図る。

(年度計画)

- ③ 引き続き、東北・岡山・中部療護センターにおいて、入退院の状況を勘案しつつ、短期入院事業を行うとともに、千葉療護センターについても短期入院事業の実施に向けた環境整備を行う。

◎ 年度計画における目標設定の考え方

- 短期入院事業において療護センターの有効活用を図るため、東北・岡山・中部療護センターの有効活用を図ることとした。
- 千葉療護センターの短期入院事業の実施に向けた環境整備を行う。

◎ 当該年度における取組み及び中期目標達成に向けた次年度の見通し

1) 平成17年度における取組み

- 短期入院事業については、東北・岡山・中部療護センターにおいて、下記の通り受け入れを実施した。千葉療護センターにおいては、短期入院事業の実施に向けた短期入院実施計画を策定するなど環境整備を行った。

短期入院事業の受入人日

施設名	受入人日(人数)
東北療護センター	47人日(4人)
岡山療護センター	39人日(5人)
中部療護センター	97人日(8人)
合計	183人日(17人)

※()内は受入人数

2) 次年度の見通し

東北、岡山、中部療護センターに加え、千葉療護センターにおいても、入退院の状況を勘案しつつ短期入院事業を行い、療護センターの有効活用を図る。

◎ その他適切な評価を行う上で参考となり得る情報

(中期目標)

- ① 療護センターにおいては、遷延性意識障害者に対し、質の高い治療・看護を実施するとともに、医学的観点から公平な治療機会の確保を図りつつ、必要な措置をハード・ソフト両面において実施し、治療効果を高めること。

(中期計画)

- ④ メディカル・ソーシャルワーカーによる患者家族に対する支援や在宅介護者に対する介護に関する知識・技術の提供を推進する。

(年度計画)

- ④ 引き続き、メディカル・ソーシャルワーカーにより、転院先情報の提供など患者家族に対する支援や、療護センターにおいて行う介護に関する知識・技術の情報の提供など在宅介護者に対する支援を強化する。

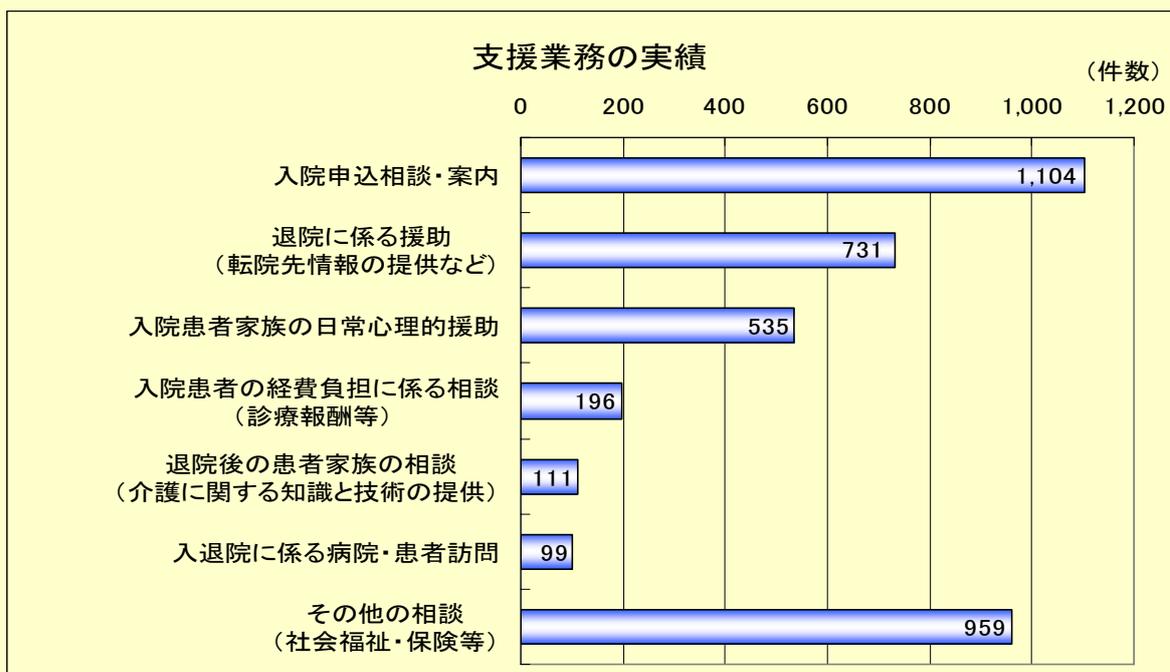
◎ 年度計画における目標設定の考え方

- 療護センターのメディカル・ソーシャルワーカーの専門的知識を活用して転院先情報の提供など患者家族に対する支援を実施することとした。
- 療護センターの行う介護に関する高度な知識・技術の情報を提供するなど支援を強化することとした。

◎ 当該年度における取組み及び中期目標達成に向けた次年度の見通し

1) 平成17年度における取組み

- 各療護センターのメディカル・ソーシャルワーカーは、患者家族に対する入院申込に係る相談・案内など入退院に係る3,735件(平成16年度実績3,320件)の支援を行った。



○ 在宅介護支援として、機関誌「介護だより」に、音楽療法、顔・口周囲のマッサージなどを紹介し、在宅介護者に対する支援を行った。

「介護だより」による情報提供

介護方法の紹介

音楽療法の紹介

中野介護センター
看護部 部長 石山内保
リハビリテーション科 音楽療法士 藤村由香

早朝の風、見上げる空や遠くで緑青ほころぶ空や鳥の鳴き声を聴いているように見える今の季節ですが、皆様におかれましてはますますご多幸のこととお慶び申し上げます。

当センターが開設して早やろ年が経とうとしています。病院他より看護部よりリハビリテーション科が連携を密にしているリハビリテーションに励みながら、入院に際しては事前におどのようになら希望されているのか、嗜好や趣味などに家族にいろいろ聞いていただくようにしています。それらの事情を職員が知ることはすべてのケアに繋がりますことだと感じています。また、季節性に対応した音楽やビデオなどどんとん持ち込みでいただいています。そして認知訓練やトランプゲームをしている様子を積極的に観ている方も、観てもらっています。

今回は当センターで音楽療法士として個人や集団療法を行っている藤村さんからの音楽療法について紹介させていただきます。音楽でもめる音楽療法についても書いていただきました。音楽療法は物として耳から聞くだけではなく、聴ける、振動を感じる、リズムをとるという実際に触れながら体験を創出するものです。楽器を奏する療法の一つとしてご紹介させていただきます。ご家庭で簡単にできることから取り入れていただき、ご家庭で楽しんでいただければ幸いです。



石山内保さんより

介護施設センター 主任看護部 佐藤 由香子

若い顔の顔内生うこかきないでいると、顔色が曇り、表情が乏しくなったり、鼻づらくなったり、歯を磨きづらくなることがあります。それを防ぐために顔のマッサージ、口周囲のマッサージが大切になります。

以下の保書を参考に1日1回行いましょう（食前飲める前や飲める前など）。

1. 人の顔に定めたハンドポイントを見つけてみましょう。自動巻はハンドポイントを手探りで、片目ずつ行いましょう。
2. 温めたタオルで顔全体を洗い、1分程度乾かしていただきます。
3. まず、両頬をしっかりと握ります。目を閉じて自動巻の歯の平を押し強く押す感じでマッサージします。
4. 今度は人差し指を使い、唇のふちに沿って内側へ触ります。①②③と順番に4箇所行います。



5. 頬骨を手の腹に押し、人差し指と薬指の指先で頬骨をのばします。①②③と順番に4箇所行います。

2) 次年度の見通し

引き続き、各療護センターにおいて、メディカル・ソーシャルワーカーによる患者家族に対する支援や在宅介護者に対する介護に関する知識・技術の提供の推進を目指す。

◎ その他適切な評価を行う上で参考となり得る情報

(中期目標)

- ② 専門的診療・看護体制と高度先進医療機器を活用した治療・看護技術の開発・普及を図るため、研究成果の公表を行うこと。

(中期計画)

- ⑤ 地元大学等研究機関や療護センター間の連携の強化、職場内研修の充実等により、プライマリー・ナーシングや高度先進医療機器を活用した医療技術の開発・向上を図り、一般病院への普及を図るため、日本脳神経外科学会、意識障害治療学会等において年平均 10 件以上（認可法人時の直近 4 ヶ年平均年 7.3 件）の研究成果の発表を行うとともに、短期入院協力病院に対する実務研修等を行う。

(年度計画)

- ⑤ 療護センターにおいて実施されている遷延性意識障害者に対する高度な治療・看護の技術を一般病院に対して普及させるため、引き続き、地元大学等との連携をとりながら 10 件以上の学会発表を行うとともに、新たに短期入院事業に協力する病院への働きかけとして実務研修を実施する。

◎ 年度計画における目標値設定の考え方

- 療護センターにおいて実施されている遷延性意識障害者に対する高度な治療・看護の技術を一般病院に対して普及させるため、地元大学等との連携をとりながら 10 件以上の学会発表を行うこととした。
- 短期入院協力病院に対する実務研修を毎年度行うこととした。

◎ 実績値

- 地元大学等と連携し、日本脳神経外科学会、日本意識障害学会において、29 件の研究成果の発表を行った。

学会発表の実績

学会発表の内容

重症頭部外傷慢性期における髄液シャントの意義
銅欠乏による白血球減少の 1 例-長期経管栄養患者における微量元素欠乏症-
皮膚乾燥のある患者に入浴剤の使用を試みて
全盲と思われた遷延性植物症患者の視覚確認が取れた事例を通して看護者の役割を考える
血清電解質異常で発症したラトケ嚢胞の病態
難治性てんかん焦点同定に有効な ^{123}I -iomazenil SPECT 撮像条件および解析方法の検討
聴性言語記憶課題を用いた脳磁図による言語優位半球の同定
遷延性意識障害例における聴性言語刺激による誘発磁界

体性感覚誘発電位が見かけ上正常な骨欠損のある遷延性意識障害の一例
脳磁図による残存機能評価をもとにリハビリテーションを行った遷延性意識障害患者1例
呼吸理学療法によって右肺胸水貯留と荷重側肺障害が改善した遷延性意識障害患者の2例
遷延性意識障害患者に対する化粧療法の効果
前頭葉損傷患者が模倣行為を通して意思表示が可能になった1例
重症脳外傷後遷延性意識障害症例のドパミン代謝-F-DOPAを用いたPET study- び慢性軸索損傷における意識障害の重症度と脳糖代謝の関係について
18Fフルオロドーパの合成から実践まで
遷延性意識障害患者の栄養管理の現状と課題
気づきを促す音楽療法の遷延性意識障害患者に対する効果
脳外傷による遷延性意識障害に対する音楽療法の影響（ECD-SPECTのBEAT法を用いて）
遷延性意識障害患者の脳波と高温浴による関係
意識障害患者におけるボディソニックによる筋緊張軽減効果
遷延性意識障害患者における言語聴覚療法-中部療護センターにおける中間報告-
重度頭部外傷により嚥下障害、四肢麻痺、高次脳機能障害を呈した小児の復学への取組み
嚥下訓練が遷延性意識障害患者の脳波に及ぼす影響
スライス法よりクラッシュ法が有用だった遷延性意識障害患者の一例
交通事故により遷延性意識障害となった患者家族の悲嘆過程

- 短期入院協力病院への実務研修を千葉療護センターで1回（3名）、東北療護センターで1回（2名）、岡山療護センターで1回（5名）、計3回開催し、10名に対し実施した。

短期入院協力病院に対する実務研修

項目	内容
患者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 看護計画、看護記録の作成方法 ・ 看護ケアの内容と方法 ・ 看護情報の収集と活用
看護実習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 口腔ケアの仕方 ・ 体位変換の仕方 ・ 介護器具、補助具等の使い方 ・ 入浴の仕方
家族への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅介護者へのアドバイス ・ 家族のニーズの把握

◎ 実績値が目標に達しない場合には、その理由及び次年度の見通し

◎ その他適切な評価を行う上で参考となり得る情報

- 昨年7月の第14回日本意識障害学会（会員数1,500人）における療護センターの発表件数は、同学会発表件数全体の約5割（24件/53件）、療護センターの発表者は、グループ研究を行っているので発表件数より多くなるが、療護センター医療関係全職員の約4割（延べ126人/311人）。
昨年10月の第64回日本脳神経外科学会（会員数7,900人）における療護センターの発表件数は、同学会発表件数全体の約3%（5件/1,605件）、療護センターの発表者は、療護センターの医師の約3割（5人/19人）。
- 療護センターが日本脳神経外科学会、日本意識障害学会において発表した論文の要旨（平成16、17年度）を当機構のホームページに掲載した。
- 療護センターの研究成果の発表は、上記（29件）のほか、日本臨床神経生理学会、日本交通科学協議会総会等その他の学会における発表は58件であった。
- 「音楽療法シンポジウム（平成18年3月、日本音楽著作権協会主催）」において中部療護センター医長が音楽療法についての講演を行う等、療護センターの職員が4件講演を行った。

(中期目標)

③ 地域医療への貢献として、高度先進医療機器の検査受診を行うこと。

(中期計画)

⑥ 地域医療機関との連携を図り、年間9,000件以上(認可法人時の直近4ヶ年平均年5,493件)の高度先進医療機器の検査を受託する。

(年度計画)

⑥ 引き続き、地域医療機関との連携を図り、年間9,000件以上の高度先進医療機器の検査を受託する。

◎ 年度計画における目標値設定の考え方

地域医療機関との連携を図り、年間9,000件以上の高度先進医療機器の検査を受託することとした。

◎ 実績値

○ 各療護センターにおいては、地域医療への貢献として、MRI、PET等高度先進医療機器を活用した外部検査の受入れに努め、12,398件の外部検査を受託した。

なお、平成17年度の件数は、PETの件数減等により、平成16年度の件数をやや下回った。

高度先進医療機器の外部検査件数

年 度	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
外部検査件数	7,076 件	9,592 件 (下半期:4,787 件)	12,450 件	12,398 件
(参考)検査収入	91 百万円	137 百万円 (下半期:71 百万円)	194 百万円	161 百万円

◎ 実績値が目標に達しない場合には、その理由及び次年度の見通し

◎ その他適切な評価を行う上で参考となり得る情報

(介護料支給等支援業務)

(中期目標)

- ④ 重度後遺障害者に対し、被害者の状況に応じた介護料の支給を実施するとともに、介護に関する指導助言等により、重度後遺障害者及びその家族に対する支援を強化すること。

(中期計画)

- ① 被害者の状況に応じた介護料の支給及び一般病院への短期入院費用に係る助成を行うことにより、効果的な被害者救済を図る。

(年度計画)

- ① 引き続き、被害者の状況に応じた介護料の支給及び一般病院への短期入院費用に係る助成を行うことにより、効果的な被害者救済を図る。

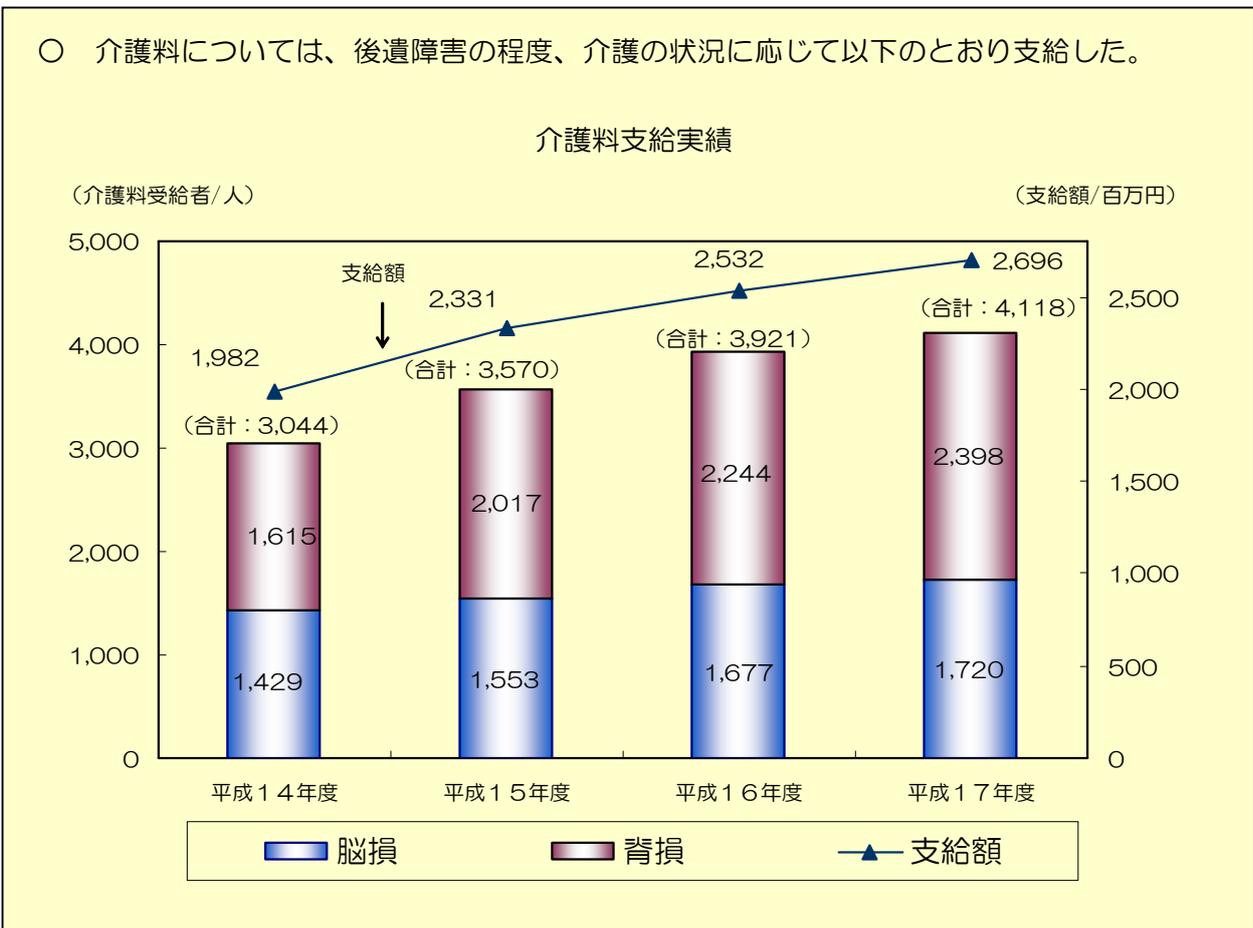
◎ 年度計画における目標設定の考え方

中期計画と同様の目標とした。

◎ 当該年度における取組み及び中期目標達成に向けた次年度の見通し

1) 平成 17 年度における取組み

○ 介護料については、後遺障害の程度、介護の状況に応じて以下のとおり支給した。



介護料支給制度

介護の程度		障害の程度	支給額等
最重度	特I種	I種のうち「最重度」とであると認められた者	68,440円～136,880円/月
常時要介護	I種	自賠法施行令別表第1の等級が第1級1号・2号	58,570円～108,000円/月
随時要介護	II種	自賠法施行令別表第1の等級が第2級1号・2号	29,290円～54,000円/月

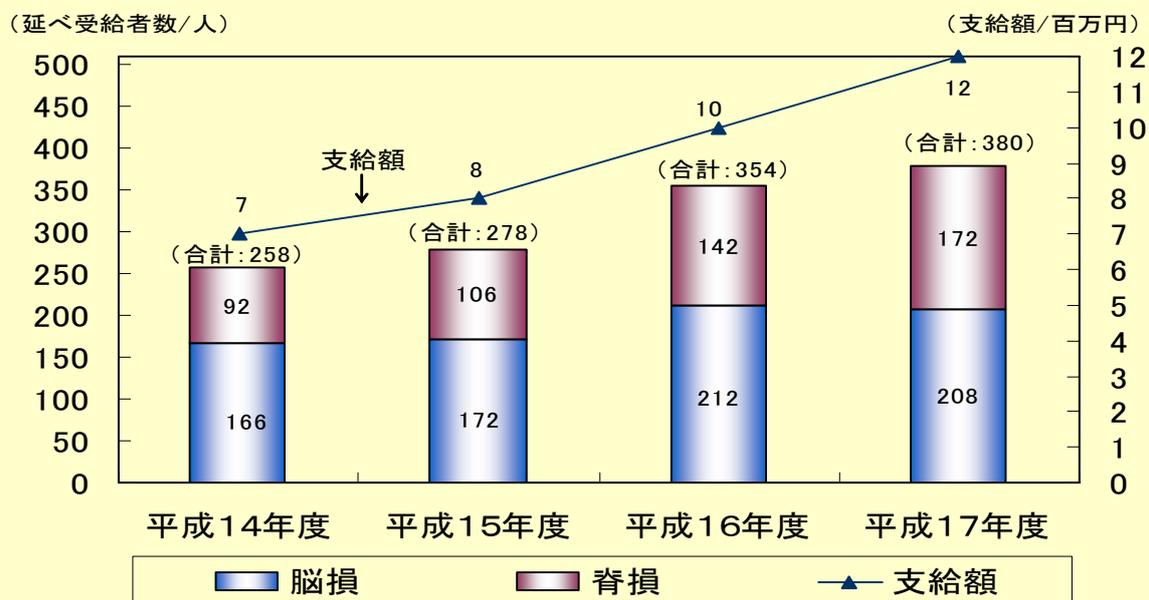
自賠責保険と当機構介護料との関連について



注) 緑色部分は介護料支給対象となる後遺障害を表している。

○ 短期入院に際して障害者の受け入れ体制の整っている病院への移動及び特別室の費用の助成を行った。

短期入院費用助成実績



短期入院費用の助成制度*

入院日数	年間支給日数	日当たり支給額	年間支給限度額
1回あたり2日以上 14日以内	30日以内	10,000円以内	300,000円

* 助成対象者：全ての介護料支給対象者

2) 次年度の見通し

次年度は、重度後遺障害者となった被害者の救済を図るために、引き続き、介護料の支給及び短期入院費用の一部を助成することにより、効果的な被害者救済を目指す。

◎ その他適切な評価を行う上で参考となり得る情報

(中期目標)

④ 重度後遺障害者に対し、被害者の状況に応じた介護料の支給を実施するとともに、介護に関する指導助言等により、重度後遺障害者及びその家族に対する支援を強化すること。

(中期計画)

② 介護に関する相談窓口を主管支所に設置し、介護福祉士等による介護に関する知識・技術の提供等重度後遺障害者の家族に対する相談支援を効果的な広報と併せて実施するとともに、療護センターと連携し、5段階評価の調査における重度後遺障害者の家族への相談支援に関する評価度について、中期目標期間の最後の事業年度までに4.0以上とする。

(年度計画)

② 介護相談窓口において、引き続き、介護福祉士等により積極的な相談支援を行うとともに、窓口寄せられた相談内容から被害者のニーズの高い情報について、療護センターと連携を図りつつ、「介護だより」を通じて提供する。これらの措置を講じることにより、5段階評価の調査における重度後遺障害者の家族への相談支援に関する評価度（平成17年度）について、4.0以上とする。

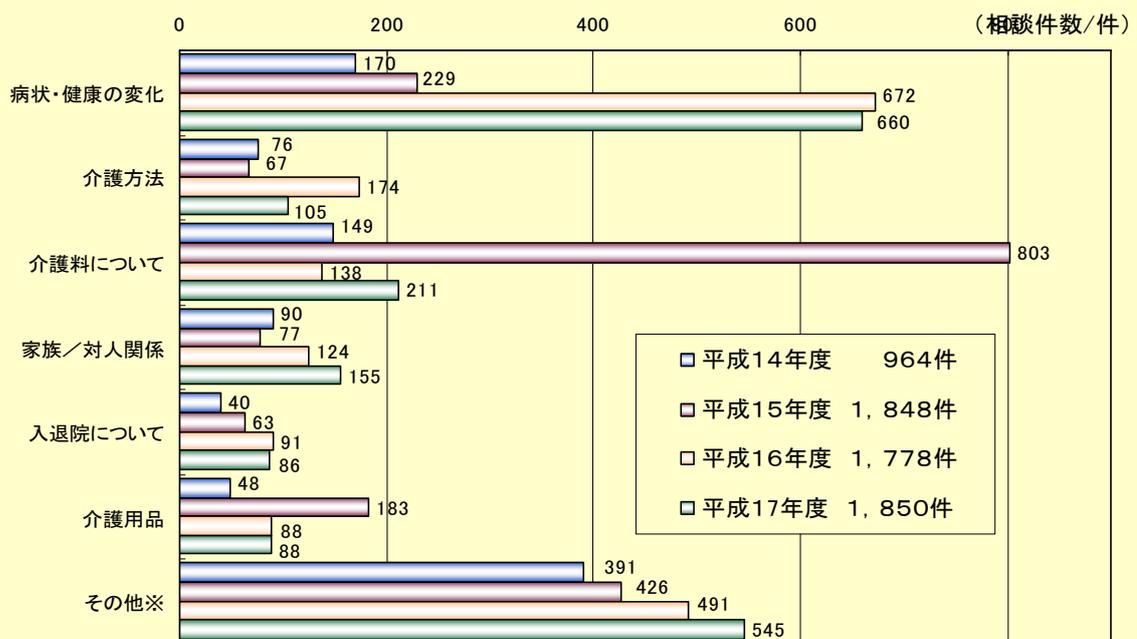
◎ 年度計画における目標値設定の考え方

- 中期計画に基づき、全主管支所に介護に関する相談窓口を設置し、介護福祉士等による相談支援を行うとともに、療護センターの協力の下、「介護だより」を通じて情報提供することとした。
- 中期目標期間中の評価度4.0を獲得することとした。

◎ 実績値

○ 全主管支所において介護相談窓口を開設し、介護福祉士等による介護相談を実施した。

相談内容別件数



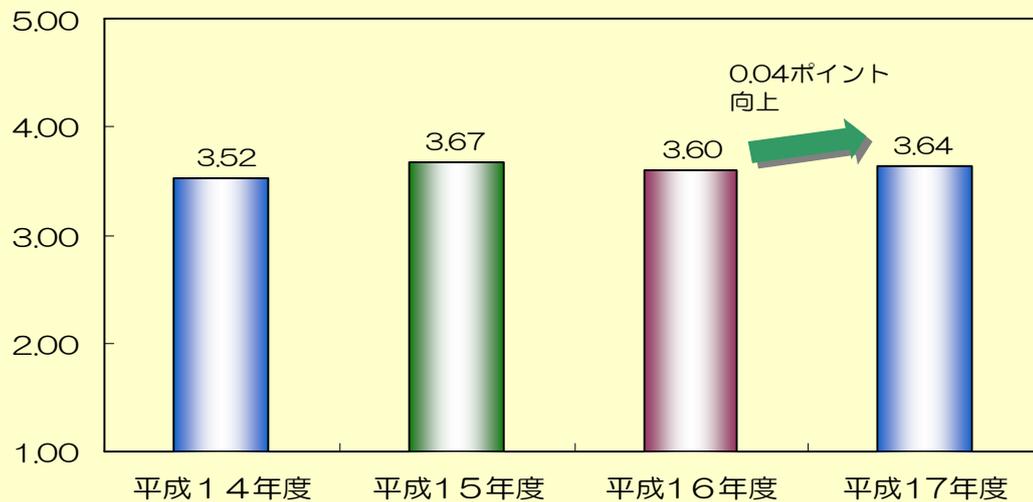
※ その他の内訳(ショートステイ、訪問看護、ホームヘルプ等)

重度後遺障害者の家族の評価度

平成16年度の結果を踏まえた取り組みにより、0.04ポイント向上させた。

5段階評価の調査における重度後遺障害者の家族への相談支援に関する評価度

評価度
ポイント

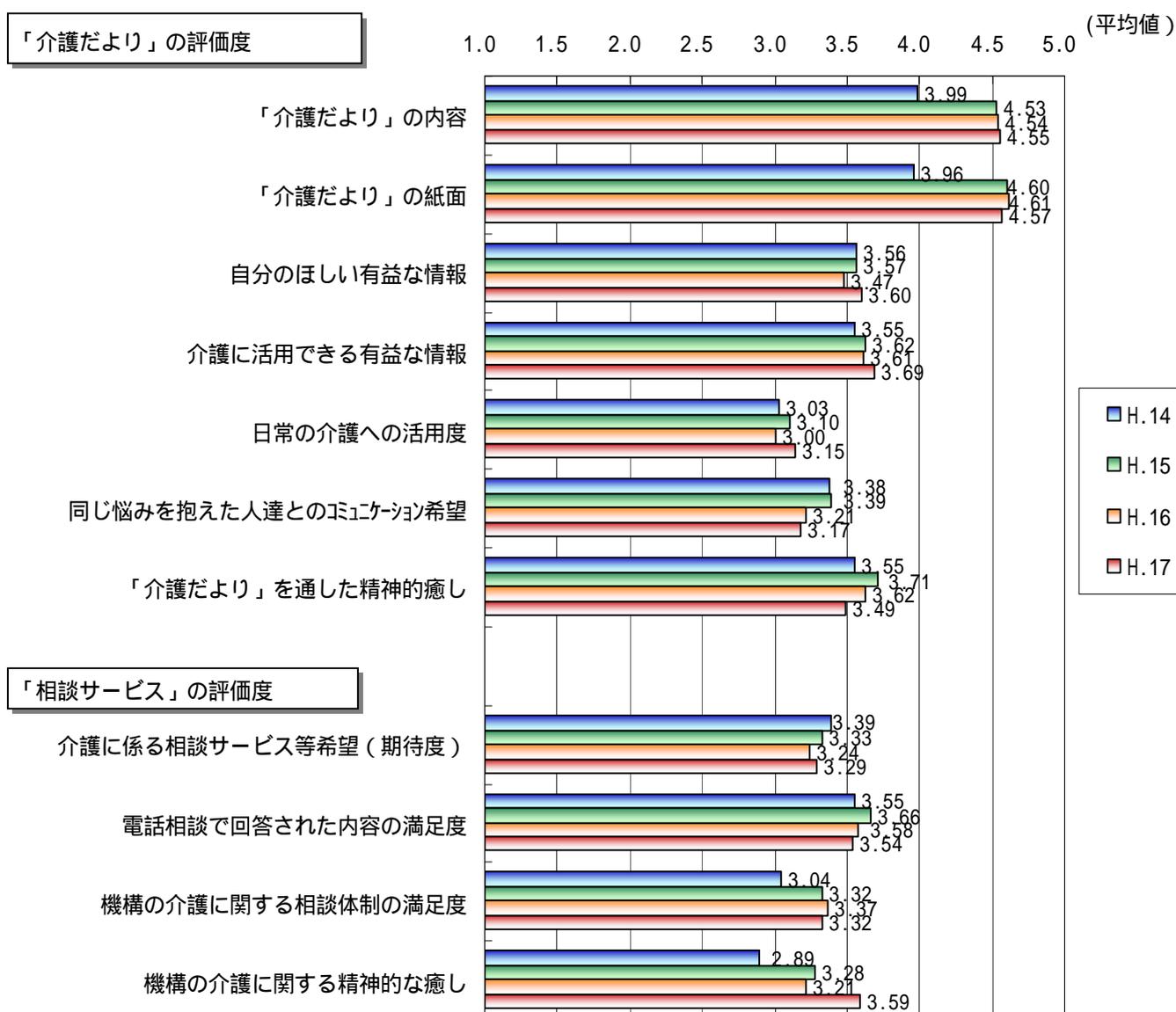


【調査の概要】

- ・ 調査期間：平成 18 年 3 月～4 月
- ・ 調査対象：平成 18 年 2 月 8 日現在の介護料受給者のうち、特Ⅰ種※（P96参照）の家族
- ・ 調査数： 979 件
- ・ 回収数： 602 件
- ・ 回収率： 61.5%

※ 特Ⅰ種以外のⅠ種・Ⅱ種（P.96参照）の者は平成13年7月の制度改正後、新たに支給対象となったことから、過去の施策との経年比較が困難であるため含んでいない

相談支援に関する項目別評価



実績値が目標に達しない場合には、その理由及び次年度の見通し

重度後遺障害者の家族への相談支援に関する評価度について、4.0以上とする目標に対し、その評価度が3.64であったため次年度以降は次のとおり取り組みを進める。

「介護だより」について

- ・ 各種情報（私の介護方法、集い（サークル・趣味など）、娯楽（旅行・外食など）等の発信については、従来の封書・ハガキによる投稿に加え、ホームページに投稿用ボックスを作成し受給資格者等からの情報提供を促進することにより、更なる充実を図る。
- ・ 広く介護知識を有する専門家を委員とする「介護だより」編集委員会を設置したところであるが、介護だよりの内容、自分のほしい有益な情報、介護に活用できる有益な情報、日常の介護への活用度、同じ悩みを抱えた人達とのコミュニケーション希望については、昨年度と比較して評価度は上昇したものの、引き続き、病状・健康の変化及び介護方法や患者家族の介護状況など、紙面の充実を図る。
- ・ 評価度が下がった介護だよりの紙面については、各種情報を発信するとともに、受給資格者やその家族の作品（絵画・俳句・写真など）等の掲載により、更なる改善を図る。
- ・ 評価度が下がった介護だよりを通じた精神的癒しについては、受給資格者やその家族が相互にコミュニケーションを図れる紙面を充実させ、更なる改善を図る。
- ・ 評価度の低い日常の介護への活用度は、療護センター等から寄せられる日常の介護に活用できる症状別の介護方法や介護用品に関するアイデア（手作りの介護用品など）の掲載など、更なる改善を図る。

「相談サービス」について

- ・ 在宅介護相談窓口の開設時間を週2時間から週4時間に拡充する。
- ・ 在宅介護相談窓口相談員は看護師や介護福祉士などの専門的資格を有しているが、受給資格者等からは各相談員の専門分野以外の相談も寄せられるため、本部に多方面の専門知識を有する統括相談員（仮称）を配置することにより、更なる相談サービスの改善を図る。
- ・ 療護センターとの連携の下、在宅介護相談窓口相談員に対し、介護に関する知識・情報の提供ができる体制を構築することにより、更なる相談サービスの質的向上を図る。
- ・ ホームページの活用により次のサービスを実施し、更なる相談サービスの質的向上を図る。
 - ① 在宅介護相談窓口寄せられた相談内容をQ & A方式にとりまとめ、データベース化することにより公表する。
 - ② 公的機関において実施している介護サービスについてとりまとめ、情報を提供する。
 - ③ 時間にとらわれることなく介護相談を可能とするため、メールによる介護相談窓口を開設する。

◎ その他適切な評価を行う上で参考となり得る情報

(4) 交通遺児等に対する支援業務

(中期目標)

交通遺児等に対し、必要な育成資金の無利子貸付けを実施するとともに、精神的支援を強化すること。

(中期計画)

被害者の状況に応じた無利子貸付けを行うことにより、効果的な被害者救済を図りつつ、保護者同士の交流の場の設置等により被害者家族相互の親睦を深め、交通遺児等の健全な育成を図る精神的支援を強化する。被害者に対する調査を実施し、5段階評価における精神的支援に関する評価度について、中期目標期間の最後の事業年度までに4.0以上とする。

(年度計画)

引き続き、交通遺児等に対して経済的な支援を目的とした無利子貸付けを行うとともに、同制度の利用対象者の保護者や子供たちの交流の場である「友の会」を運営し、「友の会だより」を発行するとともに、「友の会の集い」や「書道コンテスト」を全支所において実施することにより、精神的支援を強化する。

これらの措置を講じることにより、被害者に対する5段階評価の調査における精神的支援に関する評価度（平成17年度）について、4.0以上とする。

◎ 年度計画における目標値設定の考え方

- 中期計画に基づき、経済的支援を目的とした無利子貸付けを行うこととした。
- 中期計画に基づき、被害者家族相互の親睦を深めるため、「友の会」を運営し、「友の会だより」の発行、「友の会の集い」の実施、「書道コンテスト」の開催等の精神的支援を充実させることとした。
- 中期目標期間中の評価度4.0以上を獲得することを目標とした。

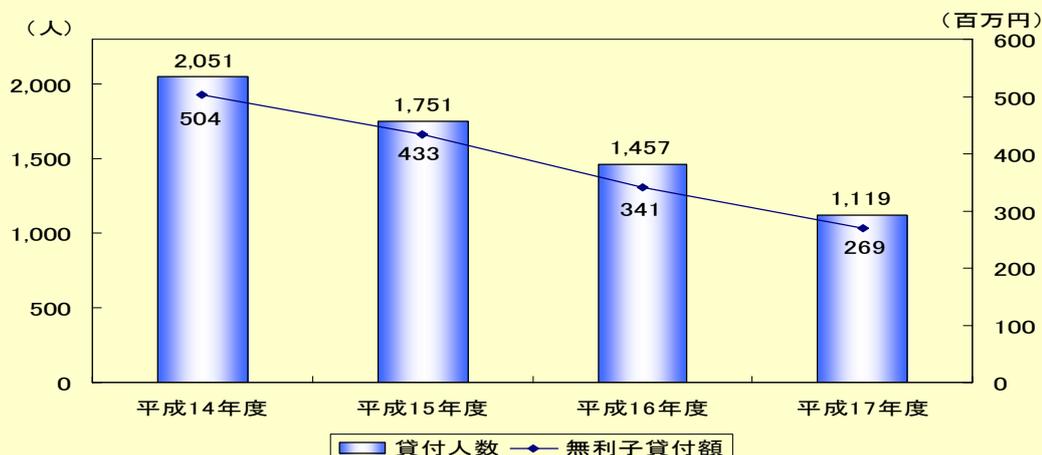
◎ 実績値

- 交通遺児等に対し、下記の通り無利子貸付けを実施した。

交通遺児等貸付の実績

項目	貸付人数	無利子貸付額
平成17年度	1,119人	269百万円

交通遺児等貸付実績

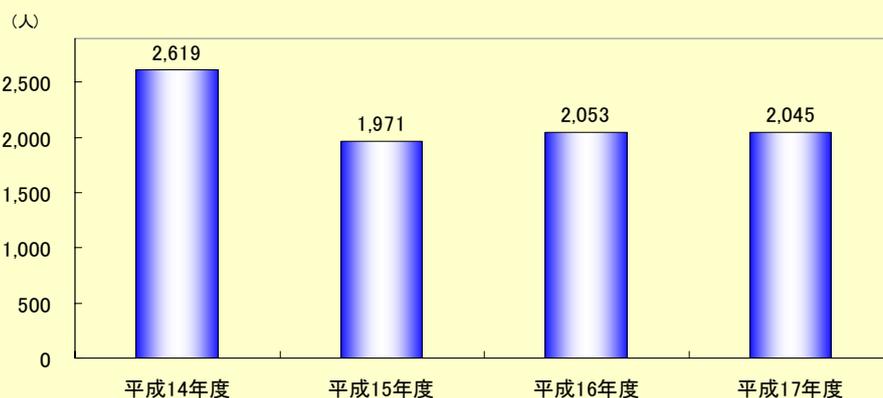


○ 交通遺児等貸付制度の利用者及びその保護者等を対象とした「友の会」を運営し、下表のとおり、精神的支援の方策を実施した。

精神的支援の実績

実施事項	概要
友の会の集い	<ul style="list-style-type: none"> ・全国50支所において交通遺児等の相談を受けている家庭相談員のサポートのもと「友の会の集い」を実施し、1,524人が参加 ・その他、企業や他の団体からの招待により、「友の会の集い」を実施し、521人が参加
友の会だより	<ul style="list-style-type: none"> ・第103号から第105号を四半期ごとに各6,830部発行し、各家庭に送付 ・第106号をB5版からA4版に拡大して紙面を充実させ、単色刷りからフルカラーに変更して見やすい紙面とし、5,430部を各家庭に送付
書道コンテスト	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17年12月10日～平成18年1月20日を応募期間として開催し、応募作品593点の中から63点の入賞作品を選抜し、本部及び各支所において受賞者に対する表彰式を実施

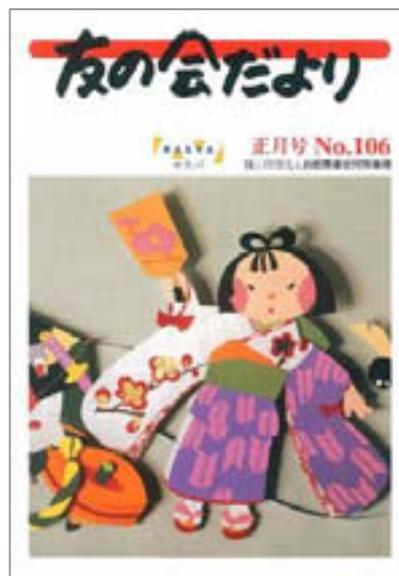
友の会の集い「参加人数」



友の会の集い



書道コンテストの受賞者とそのご家族

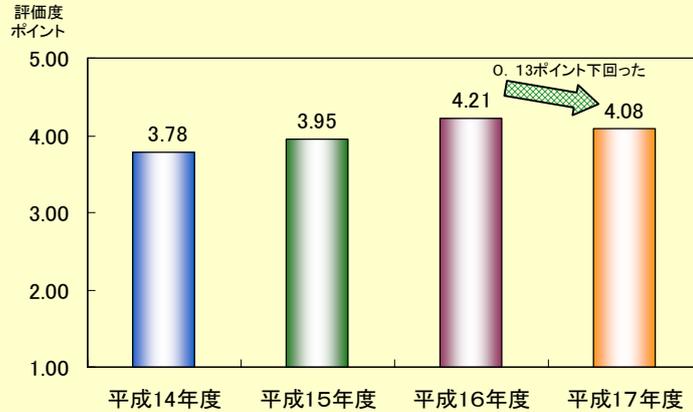


A4版フルカラーとなった「友の会だより」

○ 友の会会員の評価度

平成16年度より、0.13ポイント下回ったが、評価度の目標値4.0を上回った。

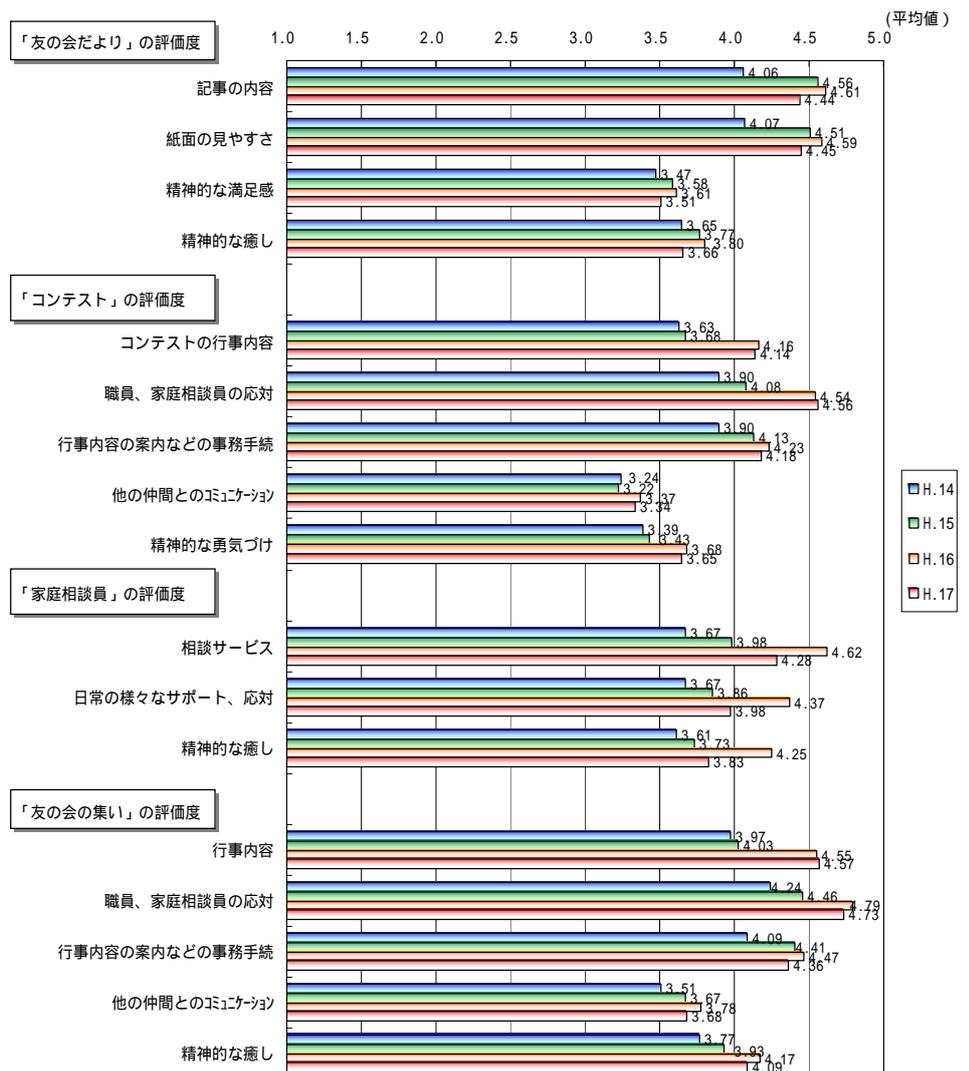
被害者に対する5段階評価の調査における精神的支援に関する評価度



【調査の概要】

- ・調査期間：平成18年3月～
- ・調査対象：友の会会員世帯
- ・友の会会員世帯数：3,628件
- ・調査数：574件
- ・回収数：349件
- ・回収率：60.8%

精神的支援に関する項目別評価



◎ 実績値が目標に達しない場合には、その理由及び次年度の見通し

その他適切な評価を行う上で参考となり得る情報

読売巨人軍の二岡智宏選手や(株)コスモ石油等の支援を得ながら、野球観戦やキャンプ等への交通遺児等の招待により、精神的支援の充実を図った。なお、今後とも、企業等の支援を得ながら更なる精神的支援の充実を図っていく。



二岡ボックスへの交通遺児招待に対する感謝状
贈呈風景



(株)コスモ石油主催の
第13回「わくわく探検隊」



仙台個人タクシー事業協同組合有志の会「でんでん虫の会」との協賛による
「溪流釣り」と芋煮会を楽しもう」

